

第5回「万葉集を楽しむ会@花奈雅和」のご報告

令和2年最初の「万葉集を楽しむ会@花奈雅和」が2月19日に開かれました。初参加2名の方を加えて17名の参加となりました。



今回のテーマは令和の「ウメ（梅）」。先生からは事前に連絡があり、序文の説明があるとのことで、楽しみに参加した人も多かったようです。原産は中国で奈良時代以前に伝わり、中国語の「梅」（マイ、メイ）転訛してウメと呼ばれるようになりました。日本人にとっては万葉の時代から愛された花で、花と共に枝ぶりも美しく香りが良く、「馥郁（ふくいく）」と



いうのは梅の香りの専用だったそうです。実は食用として、烏梅（青梅を燻製にした真っ黒な梅）は生薬で黒な梅は生薬で沈咳、解熱の生薬として使われました。花言葉の「忠実（道真の飛梅伝説より）」「気品」はまさに日本人の梅に対するイメージの気がいたします。なお、この会の開催地である杉田（磯子区）は江戸時代には梅林の名所であり、今もその面影を残しています。

万葉集ではウメはハギの141首に次いで多く119首詠まれています。その中で32首が天平2年（730年）に大宰府の長官であった大伴旅人の邸宅で催された梅花の宴で歌われたものです。その当時の大宰府は平城京に次いで大きく、外交と防衛の他に九州に3島を治めていました。参加者32人は大伴旅人、大貳紀卿（だいにききょう）、小野老（おののおゆ）、栗田大夫（あわたのまえつきみ）、筑前国守（山上憶良）、造観世音寺別当沙弥満誓（しゃみまんせい）などです。

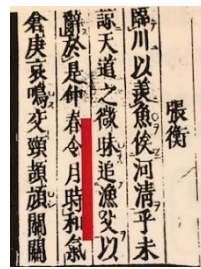
その前に、令和の元号の出典となった梅花の宴の序文について教えていただきました。その一部を紹介させていただきます。

（原文）梅花歌州二首并序 / 天平二年正月一三日 萃于帥老之宅 申宴會也
于時初春令月 氣淑風和梅披鏡前之粉 蘭薰珮後之香

(訓読) 天平二年正月一三日帥(そち)の老(おきな)の宅(いえ)に萃(あつま)りて宴會を申(の)ぶ 時に初春の令月にして氣淑(よ)く風和(よ)く 梅は鏡前の粉を披(ひら)き 蘭は珮後(はいご)の香(こう)を薰(かお)らす〜〜以下略

(意味) 天平二年(730年)正月一三日に大宰府の帥宅に集まり宴会をした。時、あたかも新春の良き月、空気は美しく、風はやわらかに、梅は(美女の)鏡の前の白粉のごとく白く、蘭は身を飾った香りのごとくただよわせている。〜〜以下略

序文は漢文で書かれており、令和の元号が万葉集からの出典であることはよく知られていますが、中国の古典の「文選」の中の「張衡」に同じ字があると教えていただきました。その時代の貴族にとって、「漢文の素養は広く深くすでに自分たちのものになっていたそうです。漢文に精通していたので中国の蘭亭の集會をまねて梅花の集會を催したと考えられるとのことです。「蘭亭序」というのはその序で王羲之が書いたことで有名です。



序文の説明の後、梅花の宴で詠まれた32首の中から2首教えていただきました。

(原文) 波流佐礼婆 麻豆佐久耶登能 烏梅能波奈 比等利美都々夜 波流比久良佐武

(訓読) 春されば まづ咲くやどの 梅の花 独り見つつや 春日暮らさむ

(意味) 春になると まず咲く我が家の梅の花 一人で見ても 春の日を過ごすことなどで
きょうか 「筑前守山上大夫」 5/815 山上憶良(やまのうえのおくら)

(原文) 可須美多都 那我岐波流卑乎 可謝勢例杼 伊野那都可子岐 烏梅能波那可毛

(訓読) 霞立つ 長き春日を 挿頭せれど いや懐かしき 梅の花かも

(意味) かすみの立つ長い春の日に 挿頭をしていますか ますます心引かれる梅の花よ
5/846 小野氏淡理(おののうじのたもり)

いつものように唱和して調べを楽しみました。

さて、これに続いての【吾意在野游による「梅花の宴」考】では「なぜ、梅花の宴が開かれたのか」「梅花の宴の位置づけ」のお話がありました。謎解きのように、とても面白かったのですが、「参加者限」ということなので、内容は掲載できません。

今回の先生は梅づくしの装いで楽しませていただきました。着物は梅模様、帯は雪輪と梅、羽織は枝に咲く梅の花、ショールは落梅でした。帯留は珍しい翡翠色の瑠璃です。お菓子は太宰府名物、かさの家の「梅が枝餅」をいただきました。



最後に参加者の皆様の感想の一部を紹介させていただきます。

●歌には心が出てしまうものだと感じました。なので天皇陛下や雅子さまの歌を深読みしてしまいます。私たちも一首ずつ詠ってみてはどうか？（え、無理、無理～の声あり）●初めての参加ですが面白くてあっという間に時間が過ぎてしまいました●多少の知識はあったものの旅人の最後の梅花の宴のことなどさらにいろんなことがわかってきました●大宰府には行きましたが今回の梅のお話を聞いてもう一回行きたくなりました●かさの家の梅が枝餅が一番おいしい●歌の後ろにある人間関係（長屋王、旅人、山上憶良など）がわかって興味深かったです。梅の花に寄せる日本人の感性の細やかさに感心しました●亡くなった母が生まれたのが2月23日（天皇誕生日と同じ）で名前が梅子です。梅は春一番に咲く花よと言っていました。忍耐強く品のある梅がテーマの今日に母のことを思いました。■梅の名所の紹介がありました。月ヶ瀬（奈良）、湯河原、田浦（横須賀）、そして、あちこちに咲いている梅。



第6回万葉集を楽しむ会@花奈雅和のお知らせ

開催日時： 4月15日（水） 10：00～12：00

場所： プララ杉田505号室（マンション棟）

参加費： 1500円（テーマにちなんだお菓子付き）

◎参加申し込みは右へお願いいたします。 杉本啓子：keni9ri@yahoo.ne.jp

なお、定員を先着18名にさせていただきます。

令和2年2月28日 文責：三浦美智子・高木紀世子

~~~~~

### 万葉集を楽しむ会@花奈雅和

講師： 吾意在野游・高木紀世子

世話役： 水野裕子（代表世話役）、杉本啓子（名簿管理）

三浦美智子（書記）、多比良恵子（会計）

~~~~~  
追加情報

4月15日に都合の悪い方は下記に参加できます。参加ご希望の方は直接講師にご連絡ください。会費は同じ1500円です。(※は1600円) pakusara3t@r7.dion.ne.jp

令和2年	3月24日(火)	AM10:00~12:00	プララ杉田505号室
	3月27日(金)	AM10:00~12:00	東京文化会館(上野)※
	4月3日(金)	AM10:30~12:30	銀座オフィス(東京支部)※
	4月5日(日)	AM10:00~12:00	杉田地区センター
	4月8日(水)	AM10:00~12:00	プララ杉田505号室:
	4月22日(水)	PM7:00~7:30	杉田地区センター